

かなざわさいがわみなみ

金沢犀川南地区

(石川県金沢市)

- 計画期間 平成18年度～平成22年度
- 面積 650ha
- 交付対象事業費 3,107百万円
- 市人口 447,209人

ポイント 交通結節機能の強化と
安全で安心な住みよいまちづくり

地区概要 自由通路などJR西金沢駅周辺整備により
交通結節拠点としての機能強化を図る。

また、街路事業や街路灯の設置、バリアフリー対策などにより安全な歩行空間、安心な住環境を創出する。

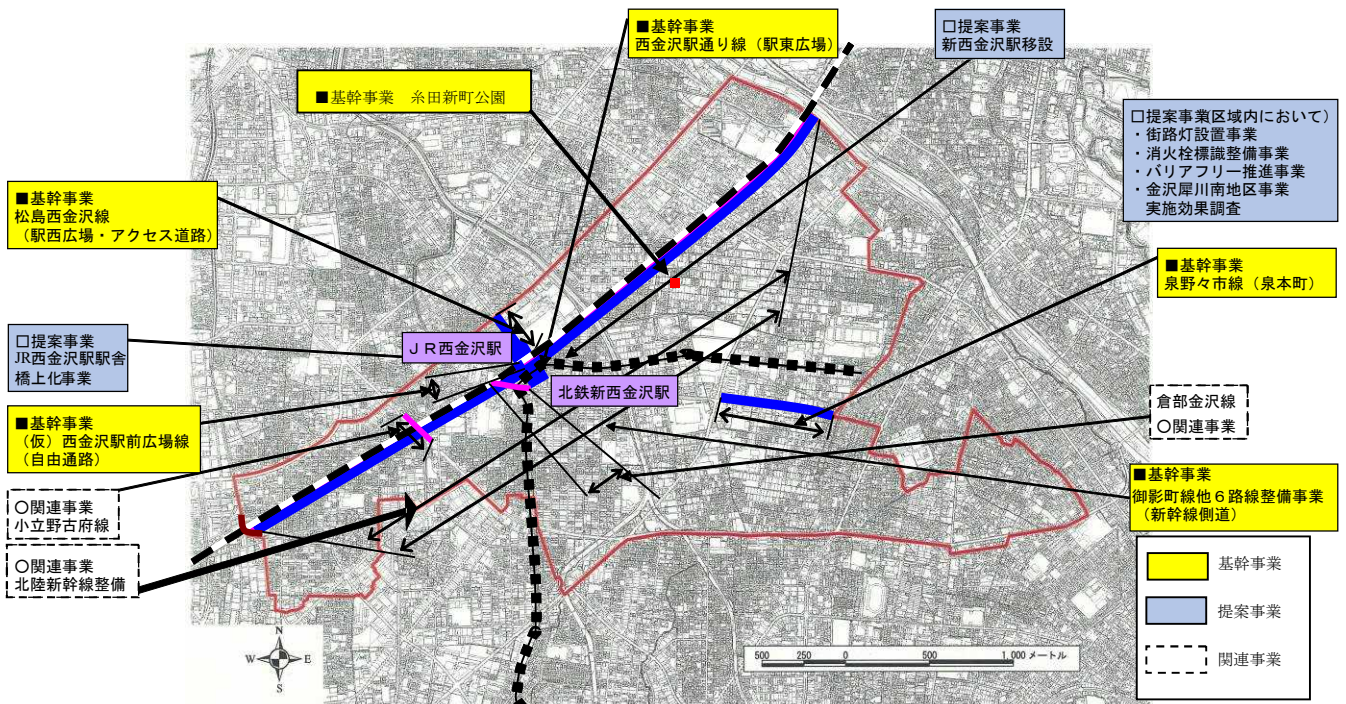
目標 交通結節機能を強化するとともに、安全で安心な居住環境を確保し、豊かで住みやすいまちづくりを行う。

指標 交通結節機能の強化としての駅の利便性の向上と駅利用者の増加を目標とするとともに、安全・安心な居住環境の確保として区域内人口の増加、犯罪件数の減少を目標とした。

指標	従前値 (H17))	目標値 (H22)	実績値 (H22)
JR 西金沢駅利用者数の増加	826,214 人/年	840,000 人/年	828,412 人/年
駅まで徒歩5分圏内の面積増加	12ha	20ha	20ha
区域内人口の増加	33,020 人	35,000 人	33,348 人
区域内の犯罪件数の減少	509 件/年	460 件/年	398 件/年

事業内容

- 基幹事業 (3,046 百万円) → 道路 (W=4.5m~16m L=3,860m 駅前広場 3,200 m²)、公園 (2箇所 3,034 m²)
 提案事業 (61 百万円) → JR西金沢駅駅舎橋上化、北陸鉄道西金沢駅整備事業、街路灯設置事業、
 消火栓標識整備事業、バリアフリー推進事業、金沢犀川南地区事業実施効果調査



完了地区 石川県

地区の現況と課題

本地区は西金沢駅を中心に工場と共存しながら住宅地が広がっているが、西金沢駅には JR 北陸本線と北陸鉄道石川線が乗り入れ、周辺の工場や高校への通勤、通学など交通結節点として重要な役割を果たしている。

しかし、西側から駅にアクセスするためには自動車通行量の多い危険な踏切まで迂回せざるを得ず、自由通路の整備が求められている。また、北陸新幹線整備の決定に伴い、駅周辺整備と側道の整備が急務となっている。

さらに、駅周辺ということから自転車の盗難など窃盗の犯罪件数が多く、犯罪を未然に防止するため、防犯意識の啓発や地域ぐるみの防犯活動、街路灯の整備など安全で安心なまちづくりが求められている。



J R 西金沢駅

道路環境整備による歩行空間の改善

【(都) 泉野々市線 (泉本町)】



整備前



整備後

提案事業の特徴

交通結節機能の強化

駅の橋上化や北陸鉄道新西金沢駅整備により駅の利便性の向上を図る。

安全で安心なまちづくり

防犯灯の設置やバリアフリー対策など安全で安心なまちづくりを行うとともに、消火栓標識の整備など自然と調和した美しいまちなみを整え、魅力あるまちづくりを行う。



北陸鉄道新西金沢駅



消火栓標識整備事業（現行の赤色から自然景観に調和したシティブラウンへ）

計画策定プロセス

西金沢駅周辺まちづくり協議会

地域に暮らす住民が主体となったまちづくりを推進するため、行政と住民・企業が協力しあい、町会、商工振興会など地元の代表で構成された協議会により地域の将来像について検討し、周辺整備計画を策定した。